

平成 28 年 9 月 30 日

長岡市教育委員会（定例会）会議録

長岡市教育委員会



1 日 時 平成 28 年 9 月 30 日 (金曜日)

午後 2 時 45 分から午後 3 時 40 分まで

2 場 所 教育委員会 会議室

3 出席委員

教育長 高橋 譲            委 員 大橋 岑生            委 員 羽賀 友信  
委 員 青柳 由美子        委 員 大久保 真紀

4 職務のため出席した者

教育部長	若月 和浩	子ども未来部長	波多 文子
教育部次長	金澤 俊道	教育総務課長	武樋 正隆
教育施設課長	中村 仁	学務課長	茂田井裕子
学校教育課長	竹内 正浩	子ども家庭課長	大矢 芳彦
保育課長	大野 宏	中央公民館長	水島 幸枝
中央図書館長	金垣 孝二	科学博物館長	小熊 博史
学校教育課主幹兼管理指導主事	宮 宏之	学校教育課主幹兼管理指導主事	高橋 和久
学校教育課主幹兼管理指導主事	柳沢 学		

5 事務のため出席した者

教育総務課庶務係長	佐藤 裕	教育総務課庶務係	濱 悠子
学校教育課指導主事	古川 真哉		

## 6 議事日程

日程	議案番号	案 件
1		会議録署名委員について
2	第 42 号	長岡市立学校通学区域規則の一部改正について (小国地域 3 小学校統合)
3	第 43 号	長岡市教育委員会表彰被表彰者の決定について

## 7 会議の経過

(高橋教育長) これより教育委員会 9 月定例会を開会する。

---

### ◇日程第 1 会議録署名委員について

(高橋教育長) 日程第 1 会議録署名委員の指名を行う。会議録署名委員については、会議規則第 19 条第 2 項の規定により、大橋委員及び青柳委員を指名する。

---

### ◇日程第 2 議案第 42 号 長岡市立学校通学区域規則の一部改正について

(高橋教育長) 日程第 2 議案第 42 号 長岡市立学校通学区域規則の一部改正について を議題とする。本件について、事務局の説明を求める。

(茂田井学務課長) 議案第 42 号 長岡市立学校通学区域規則の一部改正について 説明する。上小国小学校、浜海小学校、下小国小学校を統合し新たに小国小学校を設置することに伴い、通学区域を変更するものである。具体的な改正内容は、新旧対照表のとおりである。施行期日は平成 29 年 4 月 1 日である。

(高橋教育長) 質疑、意見はないか。

(高橋教育長) これより採決に移る。本件は、原案のとおり決定することに異議ないか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

(高橋教育長) 異議なしと認める。よって、本件は原案のとおり決定した。

(高橋教育長) 小国地域の小学校の統廃合については、学校でさまざまな行事やイベントを行っており、テレビや新聞などでも報道されている。今後も閉校記念の式典などが計画されているため、委員の方々にもぜひ出席をお願いしたい。

---

◇日程第3 議案第43号 長岡市教育委員会表彰被表彰者の決定について

(高橋教育長) 日程第3 議案第43号 長岡市教育委員会表彰被表彰者の決定について を議題とする。事務局の説明を求める。

(武樋教育総務課長) 一件目は、保育園及び学校歯科医の功績による内山登美枝さん、二件目は平成28年緑化推進運動功労者内閣総理大臣表彰の受賞の功績による社会福祉法人浄英会 恵和保育園である。具体的内容について各担当課長より説明する。

(茂田井学務課長) 長岡市教育委員会表彰規則第2条第7号に該当する候補者の説明をする。表彰候補者は内山登美枝さんである、保育園及び学校歯科医として平成13年4月1日から、通算15年7か月にわたり三和保育園・富曾亀保育園など計4保育園および柿小学校・東北中学校・川崎小学校など計6校において児童生徒の歯科検診や歯科疾患等について保健指導、保健相談などに尽力した功績である。平成28年9月15日付けで平成28年10月31日をもって、保育園歯科医・学校歯科医をともに辞職したいとの願いが提出された。在籍期間等の詳細は内申書に記載の通りである。

(大野保育課長) 長岡市教育委員会表彰規則第2条第11号に該当する表彰候補者の説明をする。表彰候補者は社会福祉法人浄英会 恵和保育園である。平成28年緑化推進運動功労者内閣総理大臣表彰を受賞した功績である。開園当初から34年間にわたり園児、保護者および職員が一体となり緑化活動に取り組んでいる。園内で自家生産した花苗をはじめ、さまざまな樹木や地域の伝統野菜等を植えることで、四季を通じて花や緑に触れることができるよう工夫している。また、活動は園内にとどまらず、世代間交流や地域交流も積極的に行っている。

(高橋教育長) 質疑、意見はないか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

(高橋教育長) それでは、各表彰候補者について表彰者として適しているか否かを決定する。第7号 内山登美枝さんを表彰者として決定してよいか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

(高橋教育長) 第11号 社会福祉法人浄英会 恵和保育園を表彰者として決定してよいか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

(高橋教育長) それでは、いずれも「適」として決定する。

(武樋教育総務課長) 内山登美枝さんは、11月9日の教育委員会表彰式の際に表彰する。社会福祉法人浄英会 恵和保育園は、別途保育園で表彰を行うか検討する。

(高橋教育長) 以上をもって、本日の議案の審議は終了する。

---

(高橋教育長) 次に、協議報告事項に移る。最初に、9月議会における教育委員会関係の質問事項について 事務局の説明を求める。

(若月教育部長) 9月議会における、教育委員会関係の質問事項について説明する。広井議員から、ながおかハイスクールガイダンスについて開催の反響や地域産業とのかかわりについて質問があった。今後も商工部と連携しながらキャリア教育に取り組んでいくと回答した。

(波多子ども未来部長) 文教福祉委員会での質問項目について説明する。議会開催前に、長岡市の保育園の待機児童は0人だが、潜在的待機児童が17人いるのではないかとの報道があり、五十嵐委員から関連する質問があった。具体的にどのような状況の方かとの質問があり、特定の保育施設だけを希望し入園をしなかった方であり、入園希望をした時点では働いてなく、新たに子どもを預けて求職活動をする理由で入園を希望された0歳児・1歳児の子どもの保護者であると回答した。次に、行政側の歩み寄りも必要ではないかとの質問があり、できるだけ保護者の希望に沿えるようにと考えており、保護者に丁寧に説明をするとともに、入園希望の多い3歳児未満については、社会福祉法人等と連携し、保育の受け皿の拡大を図っていくと回答した。

(若月教育部長) 池田委員からは、中学生の胃がんリスク検診について質問があり、

8月の定例会で報告したとおりの回答をした。

(波多子ども未来部長) ひとり親世帯の保育料については、結婚歴の有無で保育料にどの程度差があるのか、また不合理であるため是正すべきではないかとの質問があった。本当に困っている保護者の相談に乗りながら、不公平の無い仕組みについて検討したいと回答した。次に、深見委員より、3月議会で特に男性の不妊治療に関する支援について質問があり、平成28年1月に国の制度及び県の制度が改正・拡充されたため周知していきたいと答弁していたことを踏まえ、その状況確認の質問があった。問い合わせや相談を受けた場合は、制度概要を説明した上で、県の窓口につないでいると回答した。また、男性の利用状況についての質問に対し、男性の申請は現在ないことと、今後もしっかりとPRしていくと回答した。

(若月教育部長) 関委員より、学校給食費の現状を確認する質問があった。給食費の保護者負担額は年間約12億円であり、経済的に支払いが困難な場合は就学援助制度により実費全額を助成していると回答した。次に、インクルーシブ教育について質問があった。映画「みんなの学校」で紹介された元校長木村泰子氏を講師に、管理職の資質を高めることをねらいとした研修会を開催したと説明した。また、文部科学省はインクルーシブ教育システムと名前を変更しつつあるが、長岡市で行っているインクルーシブ教育システム推進事業の内容は、障害のある者とない者が共に学ぶ仕組みをつくるため、市独自で配置したコーディネーターが学校を訪問し、一人ひとりの特性に応じた支援に向けた助言等を行っており、今後も引き続き実施していくと回答した。

(高橋教育長) 質疑、意見はないか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

(高橋教育長) 平成28年度親も育つ子育てセミナー「幼児期コース」実施報告について事務局の説明を求める。

(水島中央公民館長) セミナーの趣旨は、講義や受講者同士の交流を通して、子育てに関する知識を深める場を提供することである。参加人数は、大人52人、子ども30人である。講義では保育サービスを実施しており、この講座のOGが保育を支援しているという特徴がある。講義だけではなく館外学習や情報交換できる茶話会を取り入れ、受講生が準備や司会進行などの運営協力を担い実施している。講座

終了後のアンケート結果では、受講した動機は、「内容に興味があった」「子育てに悩んでいるから」「仲間の情報が欲しい」という理由の方が多数を占め、「様々なテーマがあり、日々の悩みについて専門家の話を聞くことができた。」「子どもと離れてゆっくり学習ができた。」との感想があり、一定の評価があった。これまでは子育てはどのようなものかという精神面に関心が高かったが、最近の特徴として、食や薬またはアレルギーなど健康管理の専門知識を学びたい方が増えている。次回に学びたい内容として、保育園や幼稚園の手続き関係が知りたいとの希望があったため、子ども未来部と連携をして講座の内容を検討していきたい。今回新たに工夫した点は、「受講したくても子どもが小さく受講できない。」または「申し込みをしたが都合が悪くなり出席できなかった。」などの意見を受け、講座レポートをフェイスブックやホームページで広報した点である。今後の課題は、講座を日中に開催しているため、働いている方や男性も参加しやすいよう、開催時間帯を工夫することである。一昨年に土曜日・日曜日を利用して講座を実施したが、参加者が少なかつたため、前回は振り返り改めて考えたい。

(高橋教育長) 質疑、意見はないか。

(高橋教育長) 男性に参加してもらえるよう工夫をしたいということだが、平成28年度前半は、男性参加者は1名もいなかったのか。

(水島中央公民館長) 男性参加者いなかった。

(大橋委員) 講師も著名な方が多く、大変良い講座である。今後も状況や反響等を集約し報告して欲しい。

(高橋教育長) 希望者は全員受講できるのか。もしくは抽選を行っているのか。

(水島中央公民館長) 現状は、定員より少し希望者が多い状況だが、希望者全員から受講していただいている。

(高橋教育長) 男性専用にする必要はなく、男性が参加しやすい時間帯が、逆に女性が参加しにくい時間帯になっては意味がない。多くの方が参加しやすい時間帯にすることは難しいと思うが、男性用または女性用とこだわらずに工夫をして欲しい。

(水島中央公民館長) 前回は男性専用の講座ではなく、夫婦での参加もあった。

(高橋教育長) それはとても良い事例である。子どもと一緒に夫婦で参加でき、保育システムがあるので夫婦そろって子育てから一瞬解放される時間もある。

(高橋教育長) 次に、長岡市放課後児童健全育成事業運営費補助金交付要綱の一部改正について 事務局の説明を求める。

(大矢子ども家庭課長) 長岡市放課後児童健全育成事業運営費補助金交付要綱の改正は、市長の補助執行として行い、長岡市として公表するため報告するものである。国の要綱に準じて作成しており、国の補助基準額が改正されたことに伴い市の要綱も改正するものである。国の改正要綱の発出が、7月末から8月にかけてであったため、この時期の改正となった。

(高橋教育長) 次に、B型肝炎ワクチンの定期接種化について 事務局の説明を求める。

(大矢子ども家庭課長) 予防接種法の改正に伴い、B型肝炎が定期予防接種化されたことに対する対応であり、開始時期は、平成28年10月1日である。対象者は、平成28年4月1日以降に生まれた1歳に至る前までの間にある子である。接種見込みは、延べ4,000人を見込んでいる。標準的な接種期間は生後2か月から8か月までに3回接種するものである。接種の対象が1歳までであるため、平成28年4月生まれの子どもは、10月に1回目を接種した後、約1か月後の11月に2回目を接種、139日以上の間隔を置き約4か月半後の3月を目途に3回目を接種する予定となる。市政だより9月号で周知したことに加え、対象者には個別に通知した。

(高橋教育長) 質疑、意見はないか。

(高橋教育長) 予防接種化であるため、費用は無料であるか。

(大矢子ども家庭課長) そのとおりである。

(高橋教育長) 生後2か月から8か月までの間に3回接種することが標準的な接種期間とあるが、この予防接種を、乳児期に3回接種する理由は何か。

(大矢子ども家庭課長) 1歳に至るまでと国が示している理由は、小さな子どもの方がより高い免疫力を持つことができるからである。

(高橋教育長) 市政だよりで周知したということだが、それ以外にも周知の方法はあるため、できるだけ多くの方に周知できるように工夫して欲しい。

(高橋教育長) 次に、長岡市子育て支援員研修の実施について 事務局の説明を求める。

(大野保育課長) 子育て支援員研修は、平成28年度から取り組んでいる事業であ

る。新たな保育の担い手を確保し、保育補助者の資質向上のため、子育て支援員を認定する研修会を年2回開催するもの。平成28年度は、6月と10月に開催する。厚生労働省の通知により保育所職員配置が緩和され、子育て支援員が一定の規定のなかで保育士と同様の立場や役割を得ることとなり、保育の受け皿の拡充を図るものである。研修の内容は、厚生労働省の要綱に基づき研修を実施する。主に保育園で勤める方の地域保育コースを6月と10月に開催する。研修は約30時間の講義と2日間の保育園での実習である。もう一つは、地域子育て支援コースであり、子育てをしている方の相談業務を担当している方、おもに子育てコンシェルジュを対象としている。10月から開催し、16時間の講義と2日間の実習である。対象者の制限はなく、保育や子育て支援に関心を持っている方が受講できる。6月開講の実績は、受講決定者103名のうち全科目を受講し終了証を発行した方は、85名であった。内訳は男性1名、女性84名である。事業の効果は、朝夕の保育園の延長時間帯に子育て支援員を配置できるようになったこと、小規模B型施設において新たに3歳未満児75名の受け皿が増えたことがある。また、すでに勤務している保育補助者及び子育てコンシェルジュの質の向上が期待できる。10月開講の研修には、現在137名の申込みがある。

(高橋教育長) 質疑、意見はないか。

(青柳委員) 長岡市子育て支援員研修の募集チラシの印象が固いため、例えば、「子育てに参加してみませんか」などのキャッチフレーズを入れると敷居が低くなり参加しやすくなるのではないか。希望者が137名いることで安心したが、ぜひ工夫をして欲しい。

(大野保育課長) 来年以降も実施予定であり、意見を参考にしながら募集したい。

(高橋教育長) 6月のコースを受講された方で、保育士の資格をもっているが保育から遠ざかっており、あらためて受講を希望したい方はいるのか。また、受講した方の中で求職されている方には教育委員会が園の空き状況を紹介しているのか。

(大野保育課長) 就労予定という理由で申し込みをされた方もいた。私立保育園を中心に、求人ではないが顔合わせの機会は設けた。就労予定者19人のうち、現在1名が私立保育園に就職した。

(高橋教育長) 修了証をもらえなかった方が、18名いる。その方は、次の機会に

チャレンジする予定なのか、途中で本人の考えていたものと違うためやめたのか。

(大野保育課長) 修了証の発行は、全課程を受講する必要がある。6月には基本研修のみを受講し、10月以降に専門研修の受講を希望している方もいる。日程の都合でキャンセルした方はいたが、途中で挫折した方は6月開講の中にはいない。

(高橋教育長) 研修と実務は違うため、研修を受け実際に勤務した人が、もう少し深く学びたいと思った時にフォローアップ研修などはあるのか。

(大野保育課長) 今年度はない。来年度以降に現行の子育て支援員研修とともに、子育て支援員になった方向けの研修も考えていきたい。

(高橋教育長) 保育士の人数が足りないために子どもを預かることができないという課題がある。そのための方策として取り組んでいるが、研修を受講した方がきちんと勤められるもしくは勤める際に不安があるようなら不安を解消できるようにフォローアップができると良い制度になるのではないか。

(高橋教育長) 他に質疑、意見等はないか。

(高橋教育長) 次に、附属機関会議報告について 事務局の説明を求める。

(水島中央公民館長) 平成28年度 第2回社会教育委員会、公民館運営審議会 会議報告を行う。内容は大きく二つある。一つ目は、平成28年度の社会教育関係課の主要事業について、学校教育課、子ども家庭課、市民活動推進課、生涯学習文化課、中央公民館の5課が主要事業を説明した。二つ目は、研修委員の設置について説明した。会議は年4回あるが、新任者が20人中11人おり、委員長の発案で4回以外に自主的に研修会を行うことが決まり、研修委員を選定し研修の内容を考えた。委員の意見としては、子ども家庭課の所管である「放課後子ども教室」について、学校間で理解の温度差があるのではないかと意見があり、子ども家庭課からコーディネーターを配置して理解を深めていると説明した。また、「親も育つ子育てセミナー」について、中央公民館は子どもと直に接する機会がないため、保育課や子ども家庭課などの関係課と連携し、より良い講座にして欲しいという意見があった。

(高橋教育長) 質疑、意見はないか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

(高橋教育長) 質疑、意見なしと認め、協議報告事項を終了する。

(高橋教育長) 次に、催し物案内について、補足説明のあるものはないか。

(大矢子ども家庭課長) 10月2日に第17回ながおかポニーカーニバルを市民防災公園で開催する。葛飾ポニークラブの高度な乗馬のできる小中学生が模範演技を披露する。ぜひご覧いただきたい。

(高橋教育長) ポニーが学校等を訪問し、実際に子どもたちと触れ合うことについては実績を出していると認識している。ポニーカーニバルは、障害を持っている方や学校にかかわりのない方を含めて多くの方にポニーに親しんでもらうイベントとして捉えているのか。

(波多子ども未来部長) 来場される方は、ポニーに乗ることができるイベントとして楽しんでいる。しかし、実行委員の思いとしては、このイベントで市民の理解を得て、将来的には長岡でも市民が中心となってポニーを楽しめるようになりたいという目的がある。

(高橋教育長) そのような思いがあるならば、工夫や配慮を行ってほしい。9月28日に雨の中、教育センターの駐車場にポニーが6頭来て、教育センターに相談で通っている子どもたちが触れ合い、乗馬をした。子どもたちはとても良い顔をしていて、効果があると思う。現在はプロフェッショナルの方が付き添わないと活動できないが、独自でポニーを飼育・調教を行い、イベントができれば一番良い。ハードルが高いことは承知であるが、ポニーカーニバルを将来的に独自で開催することを目的とするならば、その工夫を来年度に色濃く出して欲しい。もちろん、まずは多くの方に参加してもらい楽しんでもらうことが大事である。

(大久保委員) 先日、総合支援学校での乗馬体験に参加したが、児童生徒の乗馬している際の表情がとても良かった。馬が綺麗で見ているだけでも心が洗われるようで、よい経験となった。

(竹内学校教育課長) 平成28年度もキャリア教育推進事業特別授業「夢先生」を、10月18日から開催する。また、ながおか夢ラジオ公開収録を10月22日にイオン長岡店で行い、東北中学校と西中学校の生徒が出演する。

(小熊科学博物館長) 平成28年度 県下 第65回生物・岩石標本展示会、第58回自然科学写真展示会を開催する。展示期間は、10月18日から10月30日である。また、馬高縄文館では9月24日から11月6日まで、馬高遺跡出土品展を開催する。火焰土器発見80周年を記念し、重要文化財指定品を中心とする収蔵品展である。

あわせて、長岡市火炎土器モニュメント探し歩き地図を作成した。長岡市内には、火炎土器をモチーフにしたモニュメントが多くあるため、地図で案内するものである。さらに、長谷川邸再建 300 年記念特別展が 10 月 29 日から 11 月 23 日まで科学博物館企画展示室で開催される。国の重要美術品である喜多川歌麿の肉筆の「立姿美人図」など、一見の価値のある展示会である。

(水島中央公民館長) わんぱく建築工作まつりを、10 月 30 日にアオーレ長岡で開催する。親子で体験できるものづくりを楽しんでもらうイベントであり、実際に大工の棟梁が組んだ建築物の上棟式が実施され、毎年好評のイベントである。あわせて同じ時期に市展も行っている。また、平成 28 年度公民館趣味の教室の作品展・芸能発表会をそれぞれ 10 月に開催する。

(竹内学校教育課長) 中学生総合文化祭ながおか夢フェスタが、11 月 12 日にアオーレ長岡のアリーナで開催される。参加する中学校は活動発表 8 校、作品展示 8 校、計 16 校の予定である。

(高橋教育長) 協議報告事項を終了する。

(高橋教育長) 他に報告事項や補足説明はないか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

(高橋教育長) 以上で本日の定例会を閉会する。

---

会議の次第を記載し、その相違ないことを証するために署名する。

長岡市教育委員会教育長

長岡市教育委員会委員

長岡市教育委員会委員